

# 市民建産常任委員会報告書

令和6年11月25日

委員長 中野 敦史

市民建産常任委員会に議会閉会中の調査事項として付託を受けておりました事項について、調査の概要を報告いたします。調査に際し、令和6年10月29日、30日に関係部課長等の出席を求め委員会を開催いたしました。

## 市民部

**人権センターから**、資料記載事項について報告がありました。

**委員から**、毎年、人権啓発講演を開催しているが、市民の同和問題及び人権の大切さへの理解はどれほどであるかとの問いに、市民からも同様の質問が寄せられており、市としても大きな課題と考えている。市民意識調査では、世代間の意識に有意な差が生じており、学校教育で正しく習っていない世代を取り込めるよう、講演及び同和問題全般に関する周知を重ねている。

また、各地域で行われる人権セミナーについて、自治会での参加の呼びかけは行っているが、参加者が少ないという状況である。市として地域での人権啓発活動をPRする方法は考えているかとの問いに、校区啓発は夜間に行っており、参加が難しい方は昼間行われる市のイベントへ参加していただくよう、自治会から呼びかけている。校区啓発のPRについては、自治会活動につながるものであるため、自治会で進めることが一番有効であると考えている。今後も協議を進め、効果的な周知活動を検討するとのこと。

**環境課から**、資料記載事項についての報告がありました。

**環境整備係から**、宗像・糟屋郡地域事業者向け脱炭素セミナーについて説明がありました。

**委員から**、周知の方法や他課との連携はどの問いに、商工政策課との連携をとるだけでなく、商工会からの協力も得ており、会員の方へのチラシ配付による周知を行っているとのこと。

また、主催・共催は3市5町となっているが、開催までの経緯はどの問いに、昨年度、古賀市で開催した脱炭素経営に関するセミナーが好評であったことで、宗像市をはじめ、他の自治体からも相談があり、共同での開催に至ったとのこと。

**海津木苑から**、IZ循環ポンプの破損調査の報告がありました。

**委員から**、今回の破損は、設置している2台のうち、停止中の1台で起こったが、2台必要な理由はどの問いに、こういった処理施設には、故障時に対応できるよう必ず予備機が設置されているとのこと。

また、海津木苑で市内小学校の社会科見学を受け入れた際、子どもたちに学んでほしいこととはどの問いに、排育という食べたら出す、当たり前が当たり前でできるようにといった教えを含めながら社会科見学を受け入れているとのこと。

**市民国保課から**、資料記載事項についての報告がありました。

**年金医療係から**、後期高齢者に係る資格確認書の職権交付の取り扱いの変更について報告がありました。

委員から、マイナ保険証の現在の普及率と病院での利用率、及び古賀市における不具合の発生の有無はとの問いに、国保の被保険者のうち、10月21日時点での利用登録率は65.7%、直近の受診件数をベースとした利用率は21.8%、大きな不具合は現時点で発生していないとのこと。後期高齢者医療制度での利用登録率が62.63%、医療機関での利用率が15.90%、不具合については、医療機関の機械が故障しマイナ保険証の確認ができなかったため、持参されていた従前の保険証で対応したとの報告を受けているとのこと。

収納管理課から、資料記載事項についての報告がありました。

委員から、ファイナンシャルプランナーへ多く寄せられる相談内容や解決へ向けての状況はとの問いに、収支のバランスがとれないといった相談や負債を抱えた中での生活再建に関する相談が多い。相談を受けた後、市としては納税計画を立てるなど、今後の計画的な納税に繋げていきたいと考えている。解決へ向けての状況は、一度で解決することは難しく、数回にわたって相談を受けている状況であるとのこと。

市税課から、定額減税調整給付金の給付状況について報告がありました。

委員から、定額減税しきれないと見込まれる納税義務者とはとの問いに、今年度に、調整給付金を給付しているが、令和6年分の所得税についてはまだ確定していないため、令和5年分の所得税をもとに推計し給付していることから、そのような表現になっているとのこと。

## 建設産業部

上下水道課から、資料記載事項についての報告がありました。

委員から、上下水道ラボについての質疑がありました。

子どもたちに学んで欲しいことは何か、また、リーパス以外のより広い場所での開催などは考えているのかとの問いに、上水においては水の成り立ちを、下水道においては公共下水道の必要性を学んでいただきたいと考えている。今後の開催場所について、現時点ではリーパスを予定しているとのこと。

また、集めたアンケートの過去との比較・評価や、今後の事業改善に向けた活用はとの問いに、始まってからの3年分しかデータがないため、比較は行っていない。データが蓄積されれば、それに基づいて施策を検討する余地があると考えているとのこと。

古賀駅周辺開発推進課から、JR古賀駅西口周辺整備基本方針について説明がありました。

委員から、西口エリアにおいては通過交通の抑制が重要であり、周辺道路整備が必要となると考えられる。古賀市だけではできない大きな動線の変更が生じる場合、関係者とのやり取りをどのように考えているのかとの問いに、駅前広場から商店街に抜ける通過交通を排除することに関して、場合によっては古賀駅前交差点の改良も必要と考えている。今後も影響の大きさを検証していくとのこと。

また、西口エリアに古賀市の象徴的な商業施設などを整備する構想などはあるのかとの問いに、西口は既存の商店や街並みが特徴的な魅力であり、そこは大きく壊すことなく、駅前広場に人が集える空間を設けたり、まちかどの交差点部に憩える広場・公園などを民間とも連携して整備したりできればと考えているとのこと。

また、開発推進協議会に加えて古賀駅まるごと遊び場プロジェクト推進会議の立上げを検討す

る必要性はとの問いに、計画の策定を主とした協議会に対し、社会実験等を推進する、より動きやすい、意見が出やすい場を作るという趣旨で、協議会の附属組織として推進会議の組成を検討しているとのこと。

**都市整備課**から、資料記載事項についての報告がありました。

**委員**から、市内各所の公園において、ボール遊びに関する可否があるが、どのようなルール設定になっているのか、また、禁止ルールの情報発信はどのように行われているかとの問いに、ボール遊び禁止のルールについては、地元で協議され決められていると承知している。周知方法については、当該地域のルールとなっているが、看板設置については、市で準備し設置しているとのこと。

また、現在の千鳥ヶ池公園は、屋外型のスポーツができる施設となっており、ここに市民体育館のような施設ができれば、更なるスポーツ増進のエリアとして認識され、アクセスもしやすいため、市外からの来園者も増えるのではないかと考えるが、そういった考えはあるかとの問いに、建設の可否については、調査・確認が必要であり、確実に公園の中に建てるということではないが、公園再整備基本計画の中で、ある程度の方針を示していければと考えている。この計画は、委託期間が今年度3月末までとなっているため、来年度の早々にもパブリックコメントなど出せばというスケジュール感を持っているとのこと。

加えて、現在の千鳥ヶ池公園の優先課題は、駐車場不足であると考えているが、市はどう考えているかとの問いに、公園再整備基本計画の中で、課題に対する解決方針を出したいと考えているとのこと。

**農林振興課**から、資料記載事項についての報告及び、農道等におけるグレーチングの盗難被害について報告がありました。

**委員**から、グレーチングについて、特殊なロックの使用や一部溶接するなどの盗難対策を打つべきではとの問いに、農林振興課所管のグレーチングは、農家の作業に際して管理が難しくなるため、ボルト締めは行っていない。人しか乗らないような箇所にはFRPのグレーチングを使用し、車に乗る箇所にはチェーンを付けるなど、対処をしていきたいとのこと。

また、鳥獣被害について、最近シカの捕獲数が増えてきているが対策はとの問いに、今年度も猟友会への委託や山林におけるシカの誘引捕獲を継続しているが、電柵の設置などと組み合わせながら被害の軽減を図っていきたいとのこと。

また、農地の貸し借りや売買においても農地バンクを経由しなければならないのは何故かとの問いに、貸し借りの相手を探せないという状況から、遊休農地化していくという現状も多々あるため、農地バンクの仲介事業を通して貸し手と借り手をつなぐことで遊休農地を減らし、農地を有効利用していく目的があると考えているとのこと。

また農地パトロールについて、休耕地や不明地などに対する対応はとの問いに、パトロールで見つかった遊休農地は、地域の農業委員に借り手へと繋いでいただき、借り手が見つからなければ中間管理機構へ登録するなど、借り手を探していく流れであるとのこと。

**商工政策課**から、資料記載事項についての報告がありました。

**商業観光係**から、資料記載事項についての報告及び、消費生活センター受付状況、九州米フェス出店、大丸神戸大九州展出店について報告がありました。

**委員**から、新事業創出促進補助金について、応募数が少なく見えるが、どのように捉えている

かとの問いに、周知については検討の必要があるが、この事業は、商工会開催の事業を受けることが条件となっている商工会のサポートが手厚い連携事業であるため、創業したいとの相談を受けた際には、丁寧に商工会へつなぎ、補助金についても説明しているとのこと。

九州米フェス出店、大丸神戸大九州展出店について、食だけでなくモノづくりの古賀市を PR する計画はあるかとの問いに、参加事業者は食品が主になっているが、冊子などを配布し、食のみならず製造業についても活発なまちとして PR していきたいとのこと。

**事業者支援係**から、ふるさと応援寄付の申し込み状況、企業見学バスツアーについて報告がありました。

**委員**から、バスツアーについて、参加企業を3社に絞った意図はどの問いに、授業の兼ね合いから午前中で終わるよう調整してほしいとの要望があり、3社としている。時間的な制約はあるが、まずは少しでも多くの企業を学生に認知いただきたいと考えており、今年度の結果も踏まえ、今後は複数回開催なども視野に学校とも調整していきたいとのこと。

**建設課**から、資料記載事項についての報告がありました。

**土木係**から、開拓道線舗装補修工事の工期の変更について、河川浚渫工事における工事内容、工事方法の見直し及び発注方法の見直しについて報告がありました。

**委員**から、西鉄宮地岳線跡地に関する地元説明会について、参加対象者は古賀市民全体であるか、市のHPでの告知は行うのか、昨年12月の集会で出された市民からの意見・要望へ回答するののかとの問いに、主に花見東1区、2区、北花見区の方を対象としているが、古賀市民の方を排除する予定はなく、市のHPでも告知を行う。前回の図面等がないと協議ができない、具体的なイメージがわからないという意見を受けて、予備設計を行い、図面等を作成している。今回はそれに基づいて意見を受け、工事の図面の修正等を行っていきたいとのこと。

また、宮地岳線跡地について、古賀南区で新しく整備された歩道の幅及びまだ整備されていない歩道の幅はどの問いに、新しく整備された歩道の幅は2から3m程度、歩道の外側が3から5m程度、北区の整備されていない歩道については50から75cm程度と把握しているとのこと。

なお、本委員会で、令和6年11月5日に広島県北広島町で「スマート農業推進事業について」、6日に広島県三次市で「3D都市モデルの活用について」の視察を行いました。